



経済・経営 レポート



平成29年度

福岡県プロフェッショナル人材戦略事業について

益々活性化する日本の求職者市場

～福岡県プロフェッショナル人材戦略拠点の成約が好調に推移～

人材戦略マネージャー 杉山 新治

1. 拠点事業の概況

平成27年度からスタートした内閣府の地方創生事業「プロフェッショナル人材戦略事業」が、福岡県でも2年を経過しようとしています。呼び名も「**福プロ** (FUKUPRO)」と省略して、親しみやすくしました。

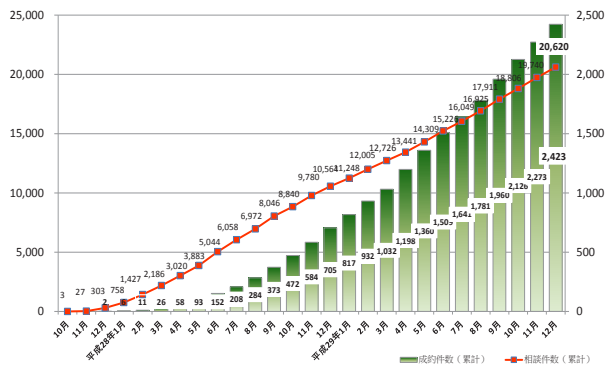
事業の基本的スキームは、去年の「NEWSふくおか・5月号」でも詳しくご紹介しましたが、地方の中堅・中小企業に大都市からの優秀な人材を還流させて、企業の成長と地域経済の活性化を図ろうとするものです。

全国レベルでは昨年末の成約件数が2,400件を超え、そこに至る企業からの相談件数は実に2万件に上っています(図1参照)。**福プロ**においても、累計での成約件数が60件を上回り(相談件数は累計410件)、今年度は目標の25件も既に達成して、全国でもトップクラスの成果を上げるまでに至っています。(詳細は後述)

こう言った結果の背景には、拠点活動が順調に軌道に乗って来ただけではなく、日本経済がわずかながらとは言え回復の兆しを呈していることにより、求職者市場が益々活性化していることが大きな要因であることは間違いありません!

言い換えると、優秀な人材の獲得の如何は、これまで以上に企業側の採用活動の積極性とスピードに掛かってきているとも言えます。そのお手伝いをするのが、当人材戦略拠点(福岡県プロフェッショナル人材センター)なのです!これを機会に、**福プロ**の一層の活用をご検討下さい。

成約件数と相談件数の推移(速報値)



【図1：全国の相談件数と成約実績の推移グラフ】

2. 平成29年度の活動骨子

拠点活動の2年目に当たって、福プロでは主に以下の3点を基本方針に掲げて活動の充実を図って来ました。

方針1) 企業の特質に応じた人材リサーチ方法とスピーディーな成約

方針2) 関係団体・機関との良好な連携関係の構築と実践

方針3) 企業の「モノづくり課題」への積極的アプローチと実践的支援

方針1では、必要人材像の具現化・必要職種、そして複数職種を希望する企業においてはその優先度の見極めなどを、これまで以上に企業の皆さんと話し合い、少しでもマッチングのスピードが上がる方向へと活動の転換を図りました。

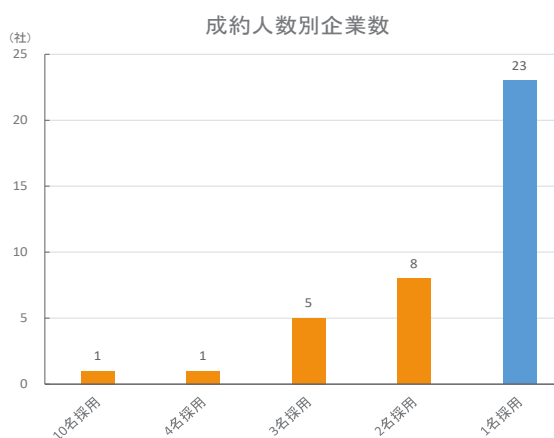
方針2では、今後の活動の領域を広げることによって、対象企業をさらに発掘して、相談件数の拡大を図るための方策を展開しました。これについては、次項で詳細を述べることにします。



方針3は、採用を焦らず、まずは企業が保有する課題を一緒に考えて、成長戦略に合った改善方法を提案する中から将来の必要人材の見極めをしたのち、我々が有する情報とのヒットを逆手順で探ろうとしたものです。

その結果、これまで6か月程度掛かっていた「成約までのリードタイム」が、最短でひと月を切る事例も出て来ました。またその逆に、6か月を超えても中々ヒットしない、いわゆる「塩漬け」となっていた案件が、突如として成約の日の目をみることになるなど、企業にも喜んでもらえる結果を出せるに至りました。

この様な成果を得られた企業からは、2番目・3番目と次々に企業情報シート（必要な人材像を記載したもの）を出してもらえるようになり、複数名の成約企業が続出したことが我々の大きな勇気ともなっています！（図2参照）



【図2：成約人数別企業数の内訳】

3. 関係団体・機関との良好な連携関係の拡充

前述の方針2で取り上げた、今年度連携関係が構築できた主な団体・機関をまずご紹介します。（記載順は順不同）

1) 金融機関関係

- ・筑邦銀行
- ・筑後信用金庫
- ・北九州銀行
- ・九州北部信用金庫協会
- ・佐賀銀行

2) 商工会議所関係

- ・福岡商工会議所
- ・北九州商工会議所
- ・久留米商工会議所
- ・大牟田商工会議所
- ・大川商工会議所

3) 産業雇用安定センター（福岡支所）

4) ふくおかよかとこ移住相談センター （福岡・東京窓口）

これらの団体・機関には、各団体の機関紙への掲載、支店長会議での説明会、セミナーの共催や後援など、積極的な多くの支援を頂いているばかりではなく、既に多くの企業の紹介もして頂いています。

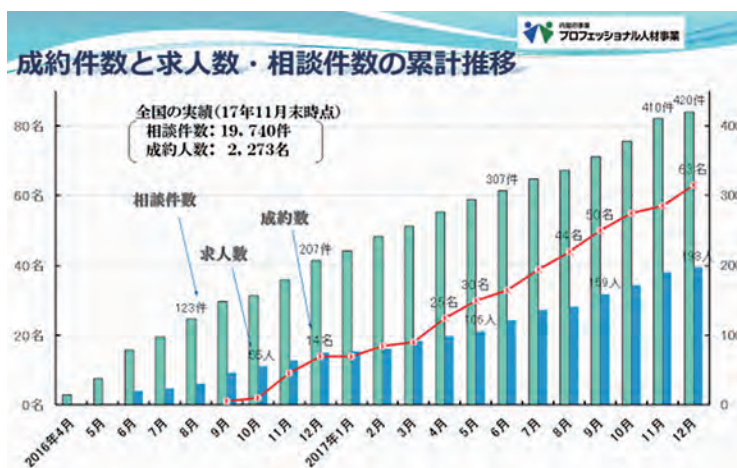
以上の他に、内閣府主導のもと国内の大手企業が当プロ人材事業との連携して、社内優秀人材のキャリア転職支援を目的とする「大企業連携」に参画しており、昨年末にはその数24社に上っています。これらの企業から出向や転籍として紹介される人材に対しては、成約時に成功フィーが原則発生しないため中小企業にとっては大きな魅力です。福岡への転職希望者や職種面での一致性は今一步の所ですが、今後成約の拡大が見込めると踏んでいます。

4. 今年度の活動実績と成約事例

1) 主な主催イベント

拠点活動も2年目となる本年度は、下記に示すように各種のイベント参加やセミナー開催を精力的にこなし、九州全拠点をリードするとともに県内企業への事業拡充に努めています。

- ・全九州プロ拠点ブロック協議会（4月・8月・12月）
- ・九州合同企業説明会IN福岡（7月・11月）
- ・「モノづくりフェア 2017」への九州5県で



【図3：活動推移グラフ】

- の合同出展 (10月)
- ・第1回セミナー (11月：筑邦銀行共催、久留米商工会議所後援)
- ・IT人材向け転職・移住説明会 (11月・東京：福岡IT企業4社参加)
- ・第2回セミナー (12月：北九州銀行共催、北九州商工会議所後援)
- ・第3回セミナー (1月：福岡商工会議所共催)
- ・全九州合同企業説明会IN東京 (2月24日)
- ・第4回セミナー (3月9日：筑豊地域中小企業支援協議会後援)

北九州がまだまだ拡大の余地が大きいと思われる点や、業種別では、製造業に次いでサービス業、卸売・小売業が多く、福岡県の産業構造を表していることなどの様子が窺えます。

2) 成約実績

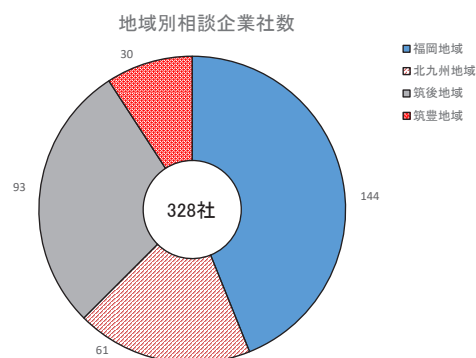
ここからは、福プロでの採用実績とその内訳、およびそのベースとなっている「福プロへの登録企業」に関する情報をグラフ化して、特徴的な事柄を皆様にご覧いただこうと思います。

図3は、福プロ開設以降の企業からの相談件数と実際に提出された企業情報シート数 (求人数に相当)、そして成約件数の推移を示したものです。

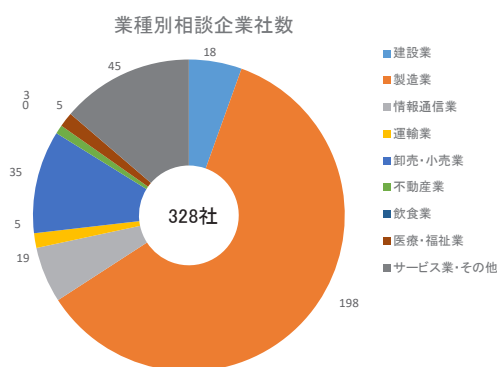
成約実績は昨年度が18名、本年度が45名の計63名 (35社) です。本年度の目標は25名ですので、年度末にはおよそ2倍の実績が得られそうです！

また特徴的なことは、企業情報シート数に対する成約件数が3割を超える高い成約率を誇っている点です。

図4・図5は、現在福プロに登録している企業の地域別、業種別の内訳です。地域別では、



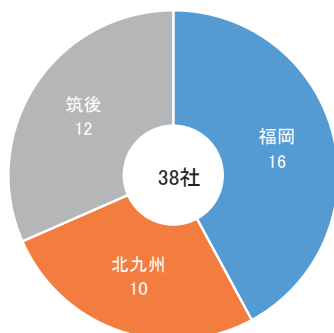
【図4】



【図5】

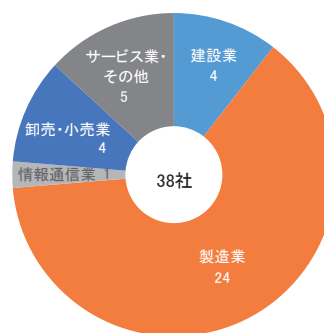
これ以降は、成約企業の実態を地域別 (図6)・業種別 (図7) で示したグラフ。続いて、成約者の年代別グラフ (図8)、採用時の年収実績 (図9) を表しています。

所在地域別成約企業数



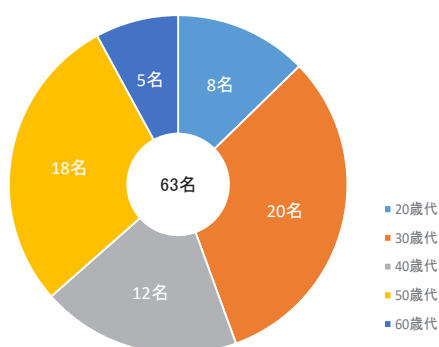
【図6】

業種別成約企業数



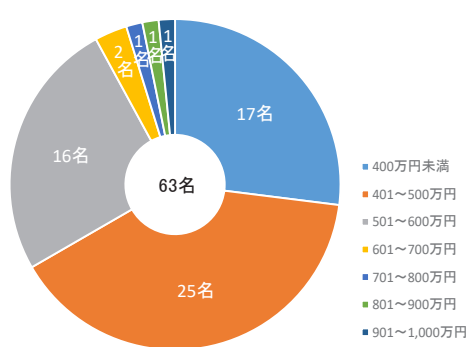
【図7】

年代別成約人数



【図8】

採用時年収別成約人数



【図9】

特徴としては、成約者の年代が30代・40代・50代とバランスが取れている点や、成約者の年収の平均額は皆さんの想定よりやや高めめの500万円前後と、事業スキームを反映した数字が得られている点でしょう。更に、グラフには有りませんが、県外からの転職者が6割を超えている点や、従業員数100名以下の中小企業の採用が26名と4割を超えている点などが、皆様の参考となる数字ではないかと思います。

よいとか、WEBサイトなどに出して待っていればそのうち誰か来てくれるだろう・・・などでは、「必要な時に必要な人材を保有する」ことなど出来ません！会社の将来を見越した人財育成にも、プロ人材の確保が不可欠です。経営者自らが動き回って人材を確保する・・・プロフェッショナル人材センターは、そんな経営者の手足になってそれをサポートする（出来る）唯一無二の機関だと思っています。事業が活況を呈している今のうちに、「福プロ」を使って、人材ビジネス事業者や大企業との強いネットワークを作っておいて下さい。将来の人材採用に大きなプラスになることは間違いありません！！

5. おわりに

冒頭でも述べましたが、優秀な人材は今や早い者勝ちです。切羽詰まってから求人を出せば

お気軽にお問い合わせください

<http://www.projinzai-fukuoka.jp>

福岡県プロフェッショナル人材センター
TEL.092-622-8822

受付時間

9:00-12:00 13:00-17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センター9階(福岡県中小企業団体中央会 内)
TEL.092-622-8822 FAX.092-622-8188 E-mail: center@projinzai-fukuoka.jp